

表

試験科目	試験地	受験番号
民事		



(上記枠内に、受験番号シールを貼付けすること。)

民事
1
頁

設問1 155/32 16.5/32

(1) XのYに対する保証契約に基づき保証債務履行請求権

(2)

(2) XはYに対して保証契約に基づき残代金220万円を支払ふ。

(3) XはAとの間で令和4年8月17日、車本件車両を代金240万円売却する契約を締結した。

XはYとの間で同日、AのXに対する売却代金支払い債務を連帯保証契約を締結した。

Aが令和4年10月と11月の支払を怠った

連帯保証契約を基にYはXに

(4) ① おべきである。2

② 民法44条により、保証人は主たる債務者が履行をしない時に、その履行をしなければならぬ者が定めらる。下線部は債務者であるAが2ヶ月分割金を支払うことを怠ったことを示しており、AとX間の合意で2ヶ月支払を怠れば残代金支払い債務は期限の利益を喪失するにもかかわらず、Aは行方不明であることから支払い債務について履行

しないものと考えらる。甲乙に於いて債務を履行しないことを示すために必要である。

(5)

設問2 13/15

① 本件車両が保安基準に適合しない 3

② 適合する 3

本件車両が保安基準に

③ Aは錯誤により本件契約を取消するのにつき主張する。

乙はYがXに対して抗辯することを主張する。

(2) 民法45条之3項により、主たる債務者であるAは取消権を有していることから、Aが本件契約を取消せば、残金は支払われるに済むため、YもXに対して残金220万円の支払いを拒める。Aの錯誤の事情をYも主張して守ることを示すために乙は必要である。

民事
2
頁